



科學教育局長殿

終戰に伴う學徒體育運動振興に關する懇談會概況

一期 日 昭和二十年九月二十九日 自午前十時 至午後二時

二場 所 文部省 會議室

三出席者 (順序不同)

第一高等學校長 安倍能成

代理 日高第四郎

明治大學總長 鷗澤總明

代理 近藤民雄

同 松本龍藏

東京帝國大學總長 內田祥三

同 學生部長 大室貞一郎

慶應義塾大學總長 小泉信三

代理 榎智雄

立教大學總長 三邊金藏

代理 帆足秀三郎

東京都教育局長 清水虎雄

法政大學總長 竹內賀久治

代理 小齊甚治郎

山崎 223

同
東京體育專門學校長 大谷 武一 橫濱工業專門學校長 富山 保
東京都立第一中學校 菊地 龍造 代理 安川 數太郎

早稻田大學總長 中野 登美雄 東京文理科大學長兼 務 臺 理 作
代理 原田 實 東京高等師範學校長
日本大學總長 山岡 萬之助
東京女子高等師範學校長 藤本 萬治 代理 永田 菊四郎

(文部省側)

前田文部大臣、大村文部次官、關口專門教育司長、有光體育局長、
田中總務室長、稻田秘書課長、中根文書課長、伊藤會計課長、
北澤體育課長、重田保健課長、寺中勤勞課長、劍木大學教育課長、
辻田師範教育課長
平野事務官、佐久間體育官、高田體育官、岩野體育官、林田體育官、
小林體育官、佐藤教學官、關口教學官、内藤教學官、村上教學官、
七澤教學官

四 懇談會經過

◎ 大村文部次官挨拶

文部省デハ終戰ニ伴フ新教育方針ノ大綱ヲ決定シタガ之ニ基ク具
體的施策ニツイテハ目下検討中デアル。然シ極メテ急速ヲ要スル
事項ニツイテハ既ニ實施ニ移シ又着々進行中デアル。其ノ他ノ事
項ニ關シテモ迅速ニ處理スル方針デアル。戰後ノ體育ハ極メテ重
要デアルカラ學校内外ノ事情ヲ考慮シツツ慎重ニ檢討シ新事態ニ
即應スル體育體系ヲ樹立シテ其ノ運営ノ適正ヲ期サネバナラヌ。
右ニ關スル問題ハ廣汎多岐デアルガ本日ハ特ニ正課外ニ於ケル體
育運動ヲ話題ノ中心トシテ懇談願ヒタイ。特ニ校友會組織並ニ運
營、實施スベキ運動ノ種目、體育大會試合等ノ運営管理並ニ學徒
ノ参加及本省外廓團體ノ改組等ニツキ意見、希望ノ存スルトコロ

ヲ開陳サレタイ。目下ノトコロ聯合軍ノ我カ國文教ニ對スル態度ハ次ノ如クデアル。

「教育及學校ニ關シテハ命令的デナク各種ノ問題ニツキ共ニ討議シテヤツテ行キタイ從ツテ差當リ命令、指示、指圖等ハシナイシ今後モシナイ方針デアル」トイッテキル。然シ適切デナイト認ルコト、又ハ迅速ヲ缺ク場合等ハ命令指示ヲ受ケナイトモ限ラナイカラ我々ハ彼等ノ指示命令ヲ待ツマデモナク改ムベキコトハ直ニ改メ實施ニ移スベキコトハ速ニ決定實施スルト云フ心構ガ肝要アル

◎一高（日高教頭）

戰後ノ體育ハ重要デアルカラ大イニ奨励シタイガ動員ヲ解除サレタ學徒ハ先ツ勉強ノ意欲ガ旺盛デアル一方食生活ニモ惱ンデキル。之等ノ調養ト食糧自給ニ對スル農具、動物飼育ノ飼料等ノ供給ハ如何ニスベキカ。

◎有光體育局長

食糧ノ補充ニツイテハ學校農園、學徒農業基地ノ設定等ニヨリ自給自足ノ體制ヲトルベク目下計畫中デアル。

◎明大（近藤教授）

千葉縣下ニ十萬坪ノ學校農園ガアルノテ之ヲ經營シツツ野球、ラグビー等差當リ復活可能ナモノカラ着午シテキルガ文部省ハ戰後ノ運動種目トシテ如何ナルモノヲ奨励シ如何ナルモノヲ禁ズル方針デアルカ。

◎有光體育局長

劍術及ビ戰技訓練ノ如ク教練ノ内容デアツタモノ又ハ直接之ニ關連スル種目ハ即刻停止シタム。劍道、柔道ニツイテハ種々ナ見解モアルヤウダガ劍道及柔道ハ必ズシモ「リタリズム」ヲ促進シテオルトハ考ヘナイ勿論發生的ニハ武術デアアルガ我カ國學校教育

ノ内容カラ言ヘバ他ノ運動、競技ト同様心身鍛錬ノ方法トシテ實施シテキタシ又學徒ニモ親シマレテ來タ。特ニ今後ノ戰爭様相ヨリスレバ武術トシテハ原始的ナモノデ二ノ次デアラウ從ツテ體育運動トシテ實施スルコトハ抑制ノ必要ハナイシ學校教育ノ内容トシテモ其ノ指導方針サヘヨロシケレバ差支ナイト思ツテキル。

◎ 犬村文部次官

校友會又ハ隨意科目トシテ實施スルコトハ問題ハナイガ正譯トシ從來ノ通り實施スルカ否カニツイテハ考慮ノ餘地ガアルノデ目下本省ニ於テ檢討中デアル。

◎ 北澤體育課長

銃劍術、射撃、武裝競走、手榴彈投等ハ直チニ中止スベキデアルガ其ノ他ノモノニツイテハ學校テ適切デアルト認ムル運動種目ハ禁止、抑制ノ必要ハナイト思フ。尤モ射撃ハ國際オリンピックク大

會ノ種目ニモアルカラ全然ヨクナイト云フワケノモノデモナイガ從來學校テ實施シテキタ射撃ハ主トシテ教練ノ内容デアツタカラ中止スベキデアル。オリンピッククノ射撃形式ノモノニツイテハ之ニ參加出來ルヤウニナツテカチ考ヘルコトニシタイ。要スルニ差當リ懸念ノアルモノハ後廻シニシタ方ガヨイガ當然實施可能ナモノハ大イニ獎勵シタイ。劍道、柔道ニツイテハ昨日聯合團側ノ情報頒布部ノ發給官將校ト會見シタ結果「軍國主義チ鼓吹スルヤウナ指導方針デナケレバ差支ナイ我々ハスポーツニツイテ徒ラニ命令チ發シタリ強壓的ナコトハシタクナイカラ大イニヤツテクレ」トノ意向ガ明ラカニサレタ。

◎ 有光體育局長

課外ノ體育運動ハ新タニ組織サレル校友會活動トシテ實施スル方針デアルガソノ目標ハ一部特定ノ學徒ニ限ルコトナク全學徒ニ其

ノ機會ヲ與フベキコトハ從來ノ方針ト變リハナイ。運営ニツイテハ學問、勤勞、スポーツトノ調落ニ再意シ且先聲ノ協力ヲ得ルコトハ望マシイガ先聲ノ指導ニノミマカスコトハヨロシクナイト思フ。

◎一中（菊地校長）

全生徒ニ何レカ一種目ツツノ運動ヲ選バセ種目別ノ班ヲ編成シ毎日一定時間實施スレバ選手ハ自ラ生レル。最初カラ特定ノ選手ヲ決メル所謂選手養成ノ方法ハヨロシクナイ選手ハ養成スルモノデナク全校生徒ニ運動ヲ實施スルコトニヨリ自然ニ生レルモノデアル。カクシテ生レタ選手ハ學業成績ト運動技術トガ兼テ併行スルモノデアル。ソレニハ全教職員ノ熱意ト實行力ガ伴ハネバナラナイコトト廣イ隣組的ノ運動場ノ設置ガ必要デアル。

◎帝大（内田總長及大室學生部長）

檢見川ニ相當ノ土地ヲ持ツテキルガ戰時中ハ學生ノ手ガ足りナイタノ多クハ附近ノ農家ニ貸與シテ耕作セシメタガ今後ハ之等ヲ復舊シテ學徒動員ニヨリ經驗ガアリ且興味ヲ有スル學生ヲ先達トシテ農耕ヲ始メルツモリデアル。時ニスポーツニ興味ガアリ之ニ優レテキル者ハコノ方面ニモ優秀デアルカラススポーツノ獎勵ト結びツケテヤツテユキタイト思フ。

◎關口專門教育局長

新ニ生レル校友會ノ組織ニツイテハ既ニ通牒シタ通り文部省トシテハ其ノ大綱ダケヲ示シ細部ハ學校當局ニ一任シテキルガ學業トノ調落、先聲ヤ學校外ヨリ受クル影響等ニツイテハ十分考慮ノ上組織シテ欲シイ。即チ新校友會ハ戰前ノソレニソノママ復歸スルノデハナク新ナル構想ノ下ニ再出發スベキデアル。以前ノ校友會ハ動セスレバ學校ノ方針ニ添ハナイ點ガ尠クナカツタカラ之等

ハ根本的ニ改善ヲ要スル。報國團ハ廢止シタガ舊校友會ヨリ報國團ニ改メ更ニ學徒隊組織ヲ經テ新ナル校友會ニ移ツタ。其ノ經緯ヲ回顧シテ學校一致、師弟同行、行學一如ノ報國團精神ハ新校友會ノ組織ニモ其ノ運営ニモ十分活カシテ行カネバナラヌ。學徒ノ自發活動ハ大イニ認メ之ニ期待スルガ學校ト表裏一體タラシムルヤウ指導スルコトガ肝要デアル。飽マテ教職員學徒ガ一體トシテノ教育的營方望マシイ。

◎明大（近藤教授）

野球ハ校友會運動部ノ組織デナク學校自體ニ於テ之ヲ指導獎勵シタイ。校友會ニ委セキリテハ學生委員ガ出來之ニ伴ツテ選舉運動等ガ行ハレ學生トシテ望マシカラザル結果ヲ生ジ易イカラデアル。野球ノリーグ戰ハ是非復活スルコトヲ希望スルガ其ノ形式ハ問ハナイ。聯盟モ必要デアラウガ學校ト遊離シナイヤウ組織シ運営ス

ルコトガ肝要デアル。從ツテ聯盟ノ幹部ハ學校教職員テ事務所等ハ理事長ノ所屬スル學校内ニ置キ之ヲ輪番制トスルコトガ適當デアルト思フ。

◎慶應大（榎教授）

校友會ニ委セキリテハ體育ノ一般普及ハ不可能デアル。學校ガ積極的ニ指導ヲ加ヘナケレバナラヌ自ラ愛好スルモノノ間ニハ自然ニ發達スルガ無關心ナモノニハ學校ガ指導セネバナラヌ。學校ハ寧ロスポーツニ關心ナキモノヲ如何シテ實施セシメルカトイフコトヲ重點トシナケレバナラヌ。盛リアガルスポーツニ對シテハ之ヲ墮落セシメナイヤウ學校ガ直接指導スルコトガ大切デアル。特に試合ニ於テハ選手ヲ絶エズ指導スルコトガ肝要デアル。スポーツノ統制ハヨロシクナイ先輩トモ一語ニナツテ直ニ自制アリ品位アルスポーツタラシメタイ。

◎日大（永田教學課長）

教職員自ら興味ヲ以テ實行スルコトが必要ナル從來ハ學生マカセノコトガ多ク弊害モ尠クナカツタ。學内ニ於テハ選手ダケテナク一般學生ニモ普及セシムルコトガ大切デアルト同様對外試合等モ一部ノ學校ノ聯盟組織ニヨル試合デナク努メテ多クノ學校ニ其ノ機會ヲ與ヘルコトが必要デアルト思フ。

（以下餘白次頁へ續ク）

◎法大（小齋教授）

野球ノ選手ハ養成スルノデナク自ラ生レルコトガ本體デアアル、選手制ニハ長所モ短所モアルカラ學校自ラ之ヲ指導管理スル必要ガアル學校教職員ハ一定ノ責任ヲ持テバ自ラ熱心ニヤルモノデアアル。從ツテ野球部長ハ必ず教授中カラ選ブヤウニシタイ。文部省モ徒ラニ一方的ニ監督ヲナスコトナク、學校側トモ親シク懇談ノ機會ヲ與ヘ常ニ親切ニ不安ヲ感ゼシメ、説明ニ依リテ、野球等ニツイテモ少クトモ當番校ト懇談ノト監督指導サレルコトヲ希望スル。野球聯盟ノ如キハ東京ニ部學校ニ止マルコトナク廣ク全國的聯盟組織トシ地域のニ地方支部ノ如キモノヲ設置シテ出來ルヤケルモノ學校ニ機會ヲ支ヘルヤウニシテ實ヒタイ

◎早大（原田教授）

戰後ノ學徒體育ノ方向ガ明カニサレテ居ルシイ。我々ニハ之ニ向ツテ大イニ努力スルガ現況ノ施設。資材デハスポーツ意慾ノアル者ニスラ其ノ機會ヲ與ヘ得ナイ。費用ノ點ハナントカ學校デ工面スルガ施設ヤ資材ニツイテハ文部省ニ於テモ十分考慮サレナイ。

◎一中（菊地校長）

専門學校以上ノコトニ關レルコトハ潛越デアアルガ中學校側トシテ要
望スル。從來ノ呼聲選手ハ勤モスレバ學生力、職業選手カ區別ノツ
カナイヤウナコトガアツタ、特ニ入學勸誘ノ手段トシテノ學資ノ保
證、選手爭奪等ニ至ツテハ弊害モ甚シキモノデアアル。

大學野球ハ後輩學徒ノ模範トナラネバナラヌ、新シイ出發ニ際シテ
文部省ト學校當局ガ協力シテ下級學校ノ模範タラシメルヤウスボ
ツノ淨化ヲ圖ツテ欲シイ

◎廣濱工專（安川教授）

専門學校ノ體育ハ概シテ不振デアアルカキ之ガ向トノ方途ヲ講ジテ實
ヒタイ。歩行運動ヤ遠泳ノヤウナ試合ヲ目的トシナイ體育運動モヲ
獎勵シタイ。校地ノ擴張、入場料徴收ノ可否等ニツキテモ考裏ヲ拂
ハレタイ

◎日大（永田教授）

運動場ノ敷園化ニ關シ運動ノ獎勵ト食糧問題トデ
ンデキルカラ適
當ナル方途ヲ講ジテ實ヒタイ

◎二大（足尾學監）

スポーツノ復興ハ望マシイガ急速ニハ中々容易ナ業デハナイ
食糧事情ガ許レバ野球ノリーグモ復活シテ日ロシイガ、特殊ナ學校
ニ限ラズ全部ノ學校ニ機關ヲ與ヘルヤウニシタイ

官廳統制行政ガ敗戦ノ一大原因デアルト云ハレテキルガスポーツノ
監督ニツイテモ文部省ハ細部ニマデ立チ入ルコトナク、文部省ノナ
スベキコト聯盟ニ委スベキコトトナ明カニ區別シ、文部省ハ寧ロ聯盟
目標ヲ解決シ得ナイコトノミニ解決ヲ與ヘルト云フ方針ヲトク、原
則ハ飽クマデ聯盟ノ自制ヲ尊重スルヤウニセラレタイ。コレハ私年
來ノ持論デアアル

◎文理大、東京高師（務臺學長兼校長）

勤勞動員乃至ハ軍隊生活ヨリ解放サレテ歸校シタ學徒ノ心境ハ大キ
ナ空虛感、不安感、疲勞感ニ瀕サレテキル特ニ食糧、住居、校舍等
ノ日常生活ガ常態ニ復歸スルカ合ニツキテノ不安感ハ深刻ナルモノ
ガアル。カカル不安感ノ除却ハ教室ノミデハ果シ得ナイ、コノ時校
友會ガ新々ニ組織サレ又スポーツヲ獎勵スルコトハ心身ノ疲勞ヲ解
除シ明朗性ヲ與ヘルタノ極メテ重要ナ役割ヲナスモノト思フ。健全

ナルスポーツノ普及ニヨリ一人デモ多ク明イ學生ニ復歸セシメタイ
◎東京體專(大谷校長)

スポーツハ大イニ獎勵スベキデアルガ、戰前ニ復歸スルガケデ
ハイケナイ。其ノ方法ニ於テハ特ニ精神方面ヲ強調セバナラヌ。
競技道徳ノ點ニ於テハ我カ國ト米國トノ間ニハ相當ノ開キノアルコ
トハ遺憾ナガラ認メザルヲ得ナイ。或ル外人ノイフトコロデハ自分
ハ選手制度トイフモノニハ意見ガアルガ事實ニ於テ立派ナ選手ノ行
動ヲ見ルト反對ハ出來ナイトサヘ言ハレテキル。米國ナドデモ例ヘ
バ運動場デハ一切煙草ハ喫シナイコトニ習慣ズケラレテキル。對校
試合等モ休日以外ハ行ハナイ。彼等ハ勝敗ソノモノヨリモ「フエア
ブレイ」、「フラインプレー」ヲスポーツノ「モットー」トシテキル
戰後ノ我カ國スポーツハ道義心ノ昂揚ニ努メネバナラヌ。而シテ試
合等ハ基礎ヲ確立シテカラ行フベキデアル。尙武道トイフ綜合名稱
ハ廢止サレタイ、剣道、柔道ノミガ武道デアルトイフ考ヘ方ハ適當
デナイ。今日デハ剣道、柔道ハ近代ノ武道デナク古武道デアアル。次
ニ剣道及柔道ノ處理問題ニツイテハ之レノ專門家養成學校ノコトヲ
モ併ニ考慮ノト決定サレタイ。

◎東京女子高師(藤本校長)

臨時措置トシテノ體育ト恆久的の體育トニ分ケテ考フベキデアル。
學徒ノ自發心ヲ昂揚シ自分ノモノトシテ發展トシムルヨトガ肝要デ
アルガ、獎勵ニ當ツテハ其ノ條件ヲシツカリ與ヘテオクコトガ大切
デアアル、根本精神並一定條件ヲ支ヘレバ其ノ實施面ハ學徒ニ委カシ
テモ差支ナイ。全體ニ獎勵スルコトハ望マシイコトデアアルガ、現況
ノ制度デハ中々困難デアアル、體育ヲ十分ヤルタメニ他ノ學科ヲ整
理スルカ、他ノ學科ノ時間ニ食ヒ込マシテ出來ナイ狀況デアアル、其
ノ上施設資材モ伴ツテキナイカラ之等ノ點ニツキ考慮ヲ拂フ必要ガ
アル。然ルトデ教職員ガ中心トナリ健康ヤ學業等ノ調整ヲ圖リツツ
スポーツヲ通ジテ競技精神ノ昂揚ヲ圖ラネバナラナイ。スポーツノ
獎勵條件等ニ關シテハ學校長ノ地域的打合せ開催スルコトハ有益
デアルト思フ。

◎東京體專(大谷校長)

國民體力ノ低下時ニ學徒出身者ノ體力ノ低下ハ戰時中ノ勤勞ヤ、戰
線ニ於テ明カニ立證サレテキル、國民體力ノ向上ハ先ヅ以テ學校體

育ノ健全ナル普及ニタネバナラナイ。ソレニハ各學校ノ制度ヲ改善スルト共ニ特ニ大學ニモ是非正課體育ノ制度ヲ設ケテ欲シイ。世界文明國中大學ニ體育ノ正課ヲ設ケナイノハ日本位デアル。

◎東京都教育局長（清水局長）

戰後學徒ノ體力向トニ付テハ極メテ重要ナ問題デネリ。本都出席ノ學校長ヨリモ屢々オ話ガアツタガ發育期ニアル青少年ニ對スル營養ノ増加ハ最も重要ナ問題デアル。ケニ食糧事情其ノ他ノ隘路ハアルガ政府當局ニ於テ特ニ之ノ點ニ留意サレ努力アランコトヲ希望ス。

◎北澤體育課長

體育運動ノ振興スルニ伴ヒ近キ將來競技大會、試合等ガ各所デ行ハレルヤウニナルコトガ豫想サレルガ文部省ハ戰前何時何處デ如何ナル内容ノ運動競技ガ實施サレテ居ルカラ知ツテ置クコトト其ノ大要ガ適切デアルカ否カナ判定スル目的デ主催當局カラ文部省ニ對シテ大會試合等ノ承認ヲ求メルコトニナツテキタ、右ハ文部省ノ體育行政ノ必要ト行ツテ居タワケデモアルガ一面學校長暨府縣學校體育當局ノ要望モアツテ行々次第デアル、即チ從來在々ニシテ大會試合等ガ學校當局ノ關知レザル間ニ行ハレタリ参加ノタメ旅行ヲ要ス

ルノデ職業ヲク場合ガアルト云ツタ如キコトモ生ジ學校當局ノ教育ノ承認制ヲ文部省ニ於テ行ツテモライタイト云フ要望ガアツタワケデアアル、然シ戰時中ハ勤勞動員ニ依ツテ事實上大會試合等モ行ハレナクナツタノデ文部省デハ右ノ承認制ヲ行ハズ學校長ノ見識ニ於テ適宜行ヒ得ルヤウ權限ヲ方任レシテ來タガ今後承認制ニ付テハ如何ニ處スベキカ御意見ヲ承リタイト思フ（意見開陳ナシ）

◎北澤體育課長

デハ承認ニ付テハ今後ノ推移ニ應ジ充分學校當局ノ御希望ニ副フヤウ善慮スルコトニ致シタイ、尚之ノ機ニ大日本體育振興會ノ組織ニ付テモ從來ノ所謂官廳外廓團體の性格ヲ改メ直ニ學校當局及ビ學徒並ニ先輩トガ渾然一體トナツテ活用シ得ル民主主義的體育運動團體ニ改組スベク目下準備中デアルカラ今後學校當局ニ於テモ一層本團體ノ利用ニ付テ御援助ヲ願ヒタイ。

◎前田文閣大臣挨拶

終戰ニヨリ學校ヨリ軍國主義ヲ拂拭シタ今後ノ教育ハ文弱文化ニ流レザルヤウ特ニ留意スルヲ要ス、コノ意味ニ於テ眞ニ新事態ニ即應

スル健全明瞭ナル體育ノ普及徹底ヲ圖ルコトハ當面ノ重大事デアアル、今
日學校長各位カラノ御意見ハ充分參考トシテ今後ノ施策上努力スル
ツモリデアアル、各位ノ一層ノ御協力ヲ望ム

